

# P4 卵巣摘出ラットの体重、血清脂質、骨塩量 に対するクロレラ熱水抽出液の効果

○日高三郎<sup>1</sup>、岡本佳三<sup>2</sup>、有田雅樹<sup>3</sup>

- 1 (福岡医療短大歯科衛生学科)、
- 2 (福岡歯科大歯科医療工学生体工学)、
- 3 ([株]みやび)

**[目的]** 漢方薬、大衆薬、またクロレラなどの健康補助食品に関して、社会的信頼度を高める為に現代の科学的研究による検証の必要性が提唱されている。このような理由から、更年期女性の動物モデルを用いて、クロレラ熱水抽出 (CGF) 液の体重増加、血清脂質変動及び骨塩量に対する効果を報告する。

**[方法]** 動物モデルは成熟ラットモデル (Kalu, 1991)を用いた。24匹の雌ラットを Sham、Sham+クロレラ CGF 投与、OVX (卵巣摘出)、OVX+クロレラ CGF 投与の4群に分けた。血清脂質はシグマ社製の測定キットを用いた。骨密度はCXD法で定量に測定した。

**[結果]** OVX 群の体重増加は Sham 群より有意に高かったが、クロレラ CGF 投与で体重増加が有意に抑制された。この CGF 液投与は OVX ラットの総コレステロール量と HDL コレステロール量の増加を抑制した。しかし脛骨の骨密度減少に対しては効果が見られなかった。

**[考察]** 用いたラットモデルは、ヒト女性の卵巣機能低下に伴う体重増加 (肥満)、骨密度減少 (閉経後骨粗しょう症)、血中脂質増加 (高脂血症) のモデルである。クロレラ CGF 液はこれらのうち体重増加と血中脂質変動に効果を示した。おそらく、脂質代謝を調節することで体重に影響を与えらる。またこのことはクロレラ CGF 液が更年期女性の骨粗しょう症でなく、肥満と動脈硬化症に効果があることを強く示唆する。

**[結論]** クロレラ CGF 液は骨塩量減少には影響を与えなかったが、体重増加を有意に抑制した。また、血清脂質の変化を正常化する傾向が見られた。